

ものづくり見学ツアー 報告書

- 開催日 令和元年 10 月 16 日（水）
- 見学先 山陽乳業(株)、今治造船(株)広島工場、(株)酔心山根本店
- 目的 市民に生産工業の現場を身近に感じてもらい、事業所について広く知ってもらう機会を設け、市内経済の活性化や三原への愛着感の醸成に繋げる。
- 参加者 39 名（部会長、市役所職員 2 名、事務局 1 名含む）
- 主催 三原商工会議所 生産工業部会

本所生産工業部会（大目木康行部会長）では、10月16日（水）、一般の方を対象に三原市内のものづくり企業を見学するツアーを実施しました。

見学先は、山陽乳業(株)、今治造船(株)広島工場、(株)酔心山根本店の3社、れすとらん浮城で昼食をとりました。

山陽乳業(株)

広島県と岡山県を中心に、学校給食、スーパー等に牛乳やヨーグルトといった乳製品を供給している山陽乳業株式会社。牛乳は、乳牛から搾られた乳を殺菌してパックに詰めるだけで、製造工程で味付けは一切していません。“おいしい牛乳＝フレッシュな生乳”と考え、生乳の受入基準を厳しく管理。ヨーグルトは、全工程を機械が行い、1時間に1万個もの商品を作り出されています。

見学では、会社概要をご説明いただき、意見交換では西日本豪雨からの復興についてもお話頂きました。工場では、施設二階より牛乳の製造レーン全体を通して見ることができました。



今治造船(株)広島工場

今治造船株式会社は、愛媛県今治市に本社工場があり、広島県のほかにも大分県や山口県など西日本に広く工場を持っています。幸崎にある広島工場は、516,000 m²もの敷地面積があり、各種鋼製大型船舶の建造を行っています。今治造船グループで製造する船は日本の建造量におけるシェアの約30.2%、世界の建造量におけるシェアを約6.0%占めています。

見学では、広い敷地内をバスで移動しながら船の様々なブロックや設備等をご案内いただきました。また、出来上がった船を見送る貴重な場面にも立ち会え、参加者もカラーテープや旗を持って社員の方々と一緒に出航を見届けることが出来ました。



榊酔心山根本店

三原の酒は、万葉集の歌に「吉備の酒」として詠まれる等、古くから酒の銘醸地として知られてきました。榊酔心山根本店の創業は1860年。伝統の「軟水仕込み」から生まれる口当たりなめらかでまろやかな味わい、スッキリとした喉ごしは、戦前より海外へも輸出しており人気を博しています。

見学では、皇室や日本画の巨匠横山大観との繋がりなど、古くから沢山の方々に愛されてきた商品と会社の歴史について、実際に資料や写真を基に教えていただきました。最後には試飲をさせていただきながら、神社などに献納する際の酒樽の包み方を実演して頂きました。



参加者の感想

- ・ 地元の商品をより一層大切に思う気持ちが高まり、購買意欲も増しました。
- ・ 衛生管理の徹底さが素晴らしいと思いました。
- ・ 完成した船を見送る貴重な体験は個人では見学出来ないのもとても感動しました。
- ・ 船の大きさに驚きました。
- ・ 会社の歴史について素晴らしい説明を聞くことができ、もっとお話を聞きたいと思いました。
- ・ 三原にいても知らないことばかりで、地元に関する知識を増やせたことが大変良かったです。
- ・ 三原の町に誇りを持ってました。